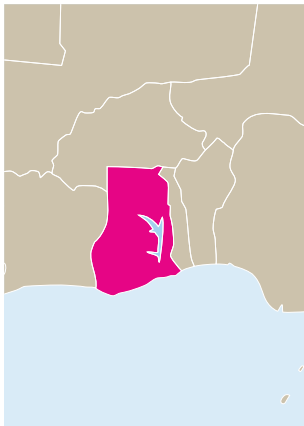


総合評価 **C** 貧困削減への支援
持続的成長に向けた基盤整備



51 ガーナ 水道セクター リハビリ事業

9都市における上水施設の修復・
拡張を通じて安全な水供給に貢献

承諾額／実行額 54億4,440万円／53億6,900万円
 借款契約調印 1994年3月
 借款契約条件 金利2.6%、返済30年(うち据置10年)、一般アンタイド
 貸付完了 2001年1月
 実施機関 ガーナ水道公社



本事業の目的

ボルタ州および北部地域9カ所の給水システムにおいて、水道施設の改修・拡張および全国の水道システムの維持管理に必要な資機材の供与を実施することにより、給水サービスの改善を図り、住民の衛生水準向上、産業発展の基盤整備に寄与することを目的とする。

本事業実施による効果(有効性・インパクト) **評価b**

本事業では、概ね計画通り水道施設の改修・拡張および資機材の供与が実施されたが、その実績は、事業対象都市によって大きく異なる。ホホエ、タマレ、ホ、ケタ／アンロガでは、本事業対象施設において十分な給水量確保が困難になっていることが確認されている。その状況に対応するため、ホホエでは2006年に施設拡張工事、ホ、ケタ／アンロガでは別途水源開発を実施した。また、デヌー／アフラオの対象施設は、審査時における需要予測および計画値が過大であったため、本事業では修復のみを行うにとどまった。ホ、ケタ／アンロガ、デヌー／アフラオを除くの水道施設(6カ所)における目標給水量達成率^{※1}は81.3%、9カ所すべての施設利用率^{※2}(2006年)は61.4%であったことが確認されている。受益者調査では、回答者の約8割から水質・水量ともに改善したとの意見が寄せられた。全国の給水率は40%と低く、安全な水に対する需要は高い。よって、本事業の実施により一定の効果発現がみられ、有効性は中程度である。

※1 施設能力÷計画値
 ※2 日平均給水量÷施設能力

本事業対象施設における給水能力等の計画値および実績値

給水システム	審査時(計画値)		事後評価時(実績値)					
	1993年 給水量 (実績) (m ³ /日)	2006年 水需要 予測値 (m ³ /日)	給水能力 (m ³ /日) A	給水能力 (m ³ /日) B	2006年 給水量 (実績) (m ³ /日) C	施設利用率 (%) C/B	目標給水量 /達成率 (%) B/A	無収水率 (%)
ホ	6,389	7,686	1,260	15,000	7,748	52	-	51.3
ホホエ	847	3,458	2,400	2,280	1,507	66	95	33.7
ユニャ/ アベンクロ	49	141	226	94	57	61	42	39
ソビノ/ ティグバ	62	133	196	186	51	27	95	30.3
アニャコ	261	359	600	336	271	81	56	19.4
ケタ/アンロガ	311	4,042	4,600	7,272	2,973	41	-	20.6
デヌ/アフラオ	336	3,811	2,330	960	357	37	-	40.3
タマレ	12,700	27,660	15,900	19,560	17,770	91	123	-
ワ	560	7,799	1,490	1,151	1,117	97	77	8

本事業実施と国家計画等との整合性(妥当性) **評価a**

本事業の実施は審査時および事後評価時ともに、国家計画(ガーナ貧困削減戦略等)と合致しており、事業実施の妥当性は極めて高い。本事業は、世界銀行、DFID(英)、AfDB(仏)等との協調融資事業である水道セクター改修プロジェクト(WSRP)の一部をなしている。

事業実施の経済性(効率性) **評価b**

本事業は、事業費は計画内におさまったものの、期間は計画を大幅に上回ったため(計画比188%)、効率性についての評価は中程度と判断される。事業遅延の主な要因としては、通信設備および変圧器調達の遅れが挙げられる。

今後の展望(持続性) **評価b**

本事業は、同国中央政府が実際の維持管理状況を把握しておらず、また、効率的な施設運営を維持していくための情報管理システムが未整備であり、維持管理体制に懸念がある。事後評価時では、このような状況に対処すべく別事業である都市水道事業(UWP)のなかで、民間企業による維持管理体制強化に取り組んでいることが確認されている。財務面では、売上高の伸びが堅調であり、政府の実施機関に対する債務免除実施が計画されていることもあり、今後改善に向かうことが見込まれる。よって、本事業の持続性は概ね問題ないと評価される。

結論と教訓・提言

以上により、本事業の評価は概ね高いといえる。今後、実施機関の維持管理能力向上のために、情報管理システムの整備が望まれる。

開発途上国専門家の意見

本事業で行った水道施設の改修および拡張は重要であるが、本事業において高い無収水率等への対応に加えて社会的公正の確保および貧困層の負担能力等もふまえた料金設定等の課題に対処していくことが期待される。

専門家の氏名: Mr. Bishop Akolgo (NGO)
 ウェールズ大学修士(経済)。現在、社会開発センター(NGO)代表、
 ガーナ評価協会会長。専門は社会開発、プロジェクト・マネジメント、
 地方行政、人材育成等。